



▲お父さんの転勤のため広島市内や島根など、転々としながら育った靖香さんと、千葉県匝瑳市出身の聖紀さん。京都精華大学芸術学部で出会った、アーティストカップルです。

移住のきっかけは？

2010年まで京都に住んでいたんですが、豪雨で屋根裏が川になりまして。当時は1階と地下1階に住んでいて、地下で制作をしていたんです。作品が全部ダメになっちゃう！と思って物件を探したんですけど、いいところが見つからなくて…。祖父母の家に誰も住んでいなかったんで、広いし家賃もいらないし、引っ越してきました。場所にしばられる仕事をしているわけでもなかったです。そのときは、半年くらいで関西へ帰るつもりだったんですけどね。(靖香さん)

避難的なつもりだったのに、そのまま6年(笑)。今後も、どこかで長期滞在して制作に取り組むとか、1～2ヶ月くらい出ることはあるかもしれないけど、ここ以外の土地に何年も住むことはないと思います。(聖紀さん)

移り住んだときの印象は？

雪が……。近くにスキー場があるって、どういこと？って感じでした。降らないって聞いてたのに。だまされました。その年はすごい降ったんですよ。ひざ上まで積もって。大学があるのは京都でも寒いところでしたが、雪は年1回程度で、降っても1～2cm。かわいい雪だるまができればいい程度だったので。ここじゃ、こっちが雪だるまになりかねないですよ。(聖紀さん)



▲8月は廿日市市で展覧会があり、10月には瀬戸内国際芸術祭2016(香川・高見島会場)に出展されるそうです

お仕事は？

母校や近畿大学などで紙漉きや紙の性質などについて教える仕事をしてましたが、最近、千代田総合型地域スポーツクラブでアシスタントクラブマネージャーとして働きはじめました。あとは、靖香の手伝いです。大学では立体的な紙を漉く研究をしていて、賞を取ったこともあるんですよ。(聖紀さん)

私は画家です。絵を描くのは私ですけど、企画案や展示案を練ってもらったり、文章系は私が苦手なのでしてもらったり…制作活動の半分くらいは担ってもらっているので、夫婦ユニットみたいな感じですよ。(靖香さん)

よかったこと・困ったことは？

制作環境はいいですね。広い場所が取れるので、困ったことは、意外とないです。ちょっと不便かなというくらい。(靖香さん)
おもしろいものが多いです。たとえば、すぐそこが紫ってこととか。昔からシソのふりかけは食べてましたけど、まさか隣の方が作っていたとは。神楽もびっくりしました。居酒屋に行ったら、カーブの話か神楽の話しかしてないですもんね(笑)。相当だなと思います。(聖紀さん)



▲家の裏手は一面の赤シソ畑。一部はもともと後藤家の田んぼだったとか

ビックリしたことは？

家にコウモリが住んでるとか、イタチが家の中のごみ箱をあさっていたとか。家の中の階段に蛇がいたこともありました。石垣に隠れてるんですよ。1日に3種類の蛇を見たこともありますよ。ムカデもおったし。驚き満載ですよ。いろんなことが起きるので、それにはちょっと慣れました。高枝切りばさみを使って蛇を処理する方法も覚えましたよ。(聖紀さん)

北広島暮らしで変わったことは？

真帆が生まれてから、町内の行動範囲が広がったかもしれません。夫婦2人のときは、遊びに行くとなったら市内へ映画を見に行くとかでしたけど、最近は、子育て支援センターとか病院、公民館など町内の施設を使うことが多くなりました。そういったご縁から、先日は地元の中高生が公民館の壁画を描くお手伝いをさせていただきましたが、また町内で芸術的な何かをできたら面白いかなと思います。(靖香さん)

車の免許を取ろうと思ってます。関西では車を持っていないのは当たり前で、自転車でもどこまでも行けるんですけど、ここでは自転車に乗っていると珍しいものを見るような目で見られますよね。これからやりたいのは、免許を取ることと、弓道。事務所が弓道場の奥にあるので、自分も弓道をやってみたいと思っています。(聖紀さん)



👨‍👩‍👧 移住を検討している方へのメッセージ

大自然を満喫したい人も、田舎暮らしを満喫したい人も住めるし、そう思っていない人も住める場所ですよ。余裕をもって生活できるような気がしています。(靖香さん)

何か町内に関わることをやりたいなと思いついたら、役場や人の距離が近いし、町のために何かやりたい人が多いので、イメージがすぐに実行できるのが魅力ですよ。(聖紀さん)

◀仲良し家族です♪

▲後藤 聖紀(ごとう せいき)さん、靖香(やすか)さん30代、
真帆(まほ)ちゃん7ヶ月

移居前：京都市 現住所：北広島町有田 移住年月：平成22年